

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213
E-mail: info@aac21.net

【カンボジア事務所】 Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu.
Kingdom of Cambodia
電話 (855) 12-519-114 (855) 12-946-483

【ホームページ】 AAC21

【公式ブログ】

会報

幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう



アンコールワット

発行日 2012年（平成24年）9月1日

第66号

（年6回発行）
（奇数月発行）

マンモス中学校に大型井戸を寄贈

◀贈呈式には千人以上の生徒が参加



▼完成した大型井戸

七月七日、第二十一回カンボジアふれあいの旅の一行がカンボジア・カンダール県「セレイモンコル中学校」(生徒数二千七十二名)を訪問、マンモス中学校に相応しい大型井戸の贈呈式を行なった。鈴木千雄さん(愛知県あま市・里親会員)が建設資金を提供してくれた。

大型井戸には蛇口が八つあって、一度に大勢の生徒が利用でき、とても便利と好評だ。生徒たちがサッカーなどで汗をかいた後のシャワーもつけた。タンクの下は倉庫になっている。鈴木さんは、昨年十一月にもコンボンチャム県の小学校に大型井戸を作り、今回が二基目の寄贈。日程の都合で鈴木さんは贈呈式に出席できなかったが、ふれあいの旅の皆さんが式に出席して完成を祝った。

成長の影にかくれた貧農の子どもたちに光を

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

ふれあいの旅でカンボジア・プノンペンを訪問中、東南アジア諸国連合(ASEAN)の会合が開かれていた。開催した国際会議場が宿泊したホテルに近いので、道路規制が多くて大変だった。日米中韓の外相ら一昔前、内戦に明け暮れ国内のこ

の無償援助)、民間NGO団体の草の根支援を両輪として、日本はカンボジアの平和と発展に大きく貢献してきた。本会も、ささやかではあるが、カンボジアの発展に寄与し、両国の友好親善に役立ってきた。特に、貧しい家庭にある子どもたちが学校で勉強



ASEANの会合が開かれたプノンペン市内の国際会議場

できるようにと創設した「クメール教育里親基金」では、この十年間で千人以上の子どもたちを教育支援し、今に至っている。先日も、ふれあいの旅で支援する教育里親の家を訪問したが、両親が離婚して母親は朝早くから夜遅くまで縫製工場働き、里子を含む三人の子もたちは、おかずを買ってお金がないので、米に塩をかけて空腹を紛らわせていた。カンボジアの経済成長には目を見張るものがあるが、発展の恩恵を享受することができずにいる、沢山の貧農の子どもたちを忘れてはいけない。国境を超え、これからも支援を続けていきたい。

第二十一回カンボジアふれあいの旅に七人参加



訪問先の小学校で学用品を配布する木村恵美子さん

第二十一回「カンボジアふれあいの旅」が七月四日～十日に行なわれ、七人の会員さんが参加してくれた。初参加は三人。今回は会員さんからの要望もあり、トンレサップ湖の水上生活者の見学コースを入れたが、意外にも参加者が少なく、少々残念だった。それでも、少ないなりに家族的な旅を楽しんだ。参加者の木村文春さんが寄贈した井戸の贈呈式、学用品の配布、里子の家庭訪問、夢ホーム訪問などの日程をこなし、十日、全員が無事帰国した。次回、第二十二回ふれあいの旅は、十一月七日～十三日に実施する予定。



手芸を教える吉澤静子さん

七月六日～十五日、本会が経営する児童養護施設「夢ホーム」に日本から四人の会員さんが長期滞在し、ボランティア活動してくれた。訪問したのは三林けい子さん(新潟県・理事、里親会員)、吉澤静子さん(東京都・里親会員)、阿部峰子さん(埼玉県・里親会員)と阿部さんの息子さんの四人。子どもたちへ手芸の指導、ミシンの操作指導、パソコン指導、畑作りの料理作り、卓球大会開催など、盛り沢山の内容。暑い中、手弁当でカンボジアまで来てくださり、感謝!

四人の会員さんが夢ホームでボランティア活動

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



勉強するカンボジアの子どもたち

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば67年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子ども達を支援する番です。※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月2500円×12ヵ月)のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金(税金)は一切いただいておりません。



生徒を指導する榎戸徹彦さん

日本宝飾クラフト学院（本校＝東京都台東区）の専任講師を務め、自宅にも工房を持つ榎戸徹彦さん（横浜市・里親会員）が、本会がカンボジアのコンボンスプー県で運営する児童養護施設「夢ホーム」内に工房を作り、子どもたちの自活を目指して、鑄造によるアクセサリー作りの技術を指導している。

七月九日～十三日、第八回目の講習会を開催した。

今回の講習会では、前回の講習会から参加した四人の生徒がハスの花のペンダント作り、最初から参加している三人の生徒は椰子のペンダント作りを行った。第一期生（三人）の技術が上達したので、シエムリアップにあるカンボジア雑貨店「クマエユーン」での販売を予定している。次回の講習会は、十一月になる予定。

第八回「鑄造によるアクセサリー作り技術講習会」(夢ホーム)



立派なバケツができました

七月二日～四日、鈴木千雄さん（愛知県あま市・里親会員）が夢ホーム内の職業訓練棟で第十二回「もの作り技術講習会」を開催、夢ホームや近所の中学生ら八人が参加した。今回はバケツ作りに挑戦、立派な製品に仕上がった。

カンボジア経済は高度成長期を迎えており、プノンペンなどの都市はビル建設のラッシュ。建設工事にはタクトなどの板金加工技術が必要で、将来のプロ板金加工技術者の育成を目指し、訓練に励んでいる。

次回（十三回）の講習会は、九月四日～六日を予定している。

第十二回「もの作り技術講習会」開催(夢ホーム)

7月はカンボジアの小・中学校に3基の井戸が完成

7月は、三つの小・中学校に井戸を寄贈した。7月7日、ふれあいの旅の参加者が出席して、二つの学校で贈呈式を行なった。井戸を寄贈した木村文春・恵美子夫妻も式に出席、子どもたちにあいさつした。（ネームプレートは会社名＝有限会社スピードテック）

手押しポンプ式井戸は1基16万円（ネームプレート付き）で完成する。井戸の設置を希望する学校の選定から完成に至るまで、本会の現地スタッフが責任を持って遂行する。



井戸を寄贈した木村さんご夫妻

7月に完成した井戸の内訳			
ネームプレートに記されたお名前など	学校名	生徒数	学校の所在地
① 鈴木千雄様	セレイモンコル小学校	2,072人	カンダール県モックムアル郡
② 有限会社 スピードテック様	テムチョレイ小学校	315人	カンダール県モックムアル郡
③ 国際ソロプチミスト石巻 会員一同	ソーセン小学校	200人	コンボンスプー県プレイチュ郡

※通算の井戸設置数（2003年～）＝211基（7月現在）

児童養護施設《夢ホーム》日記

ふれあいの旅の皆さんが訪問



ふれあいの旅、夢ホームボランティアの皆さんと

7月9日、第21回カンボジアふれあいの旅一行が「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流した。子どもたちは、覚えてたの歌を日本語で歌ってくれた。子どもたちと一緒に、昼食をいただいた。

お米をたくさんいただきました



お米を沢山ありがとうございました

7月も、多くの方よりお米をいただきました。夢ホームでは、一日で10キロのお米を消費するので、お米はありがたい贈り物だ。カンボジアのお米は50キロ袋入りが約3000円で買うことができる。

＊お米を寄贈してくださった方々（敬称略）
園田健次・美代子夫妻、平古場正行、廣川恵美子、阿部峰子、吉澤静子

図書館にパソコンコーナーを設置



パソコンを指導する三林けい子さん

日本から寄贈のあったノートパソコンは、今まで、中学生を中心に各部屋で使用していたが、遅くまで使用して生活に支障が生じるがあった。そこで、夢ホームに滞在中の三林けい子さんの指導により、図書館の一角にパソコンコーナーを設置した。

＊児童養護施設《夢ホーム》は両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活の場として、会員の皆様のご厚意により、2009年1月に建物が完成、同年3月に開園しました。現在、5歳から15歳までの20人の子どもたちが入園、近所の小・中学校へ通学しています。

佃井副理事長、夢ホームの里子に会う



シーノン君とその家族に面会

「カンボジアふれあいの旅」に参加した佃井庸八さん（群馬県・里親会員）は、「夢ホーム」にいる里子（ニン・シーノン君）に会い、たまたま面会にきていた母親にも会った。シーノン君は現在中学三年生、高校入試めざして勉強中。

正面の塀をペンキ塗装



とてもきれいになりました

夢ホームの正面の塀のペンキが剥がれて見た目が悪いため、このほど、「お年玉募金」を使い黄色いペンキを塗装、とてもきれいになった。

■雨季が始まり田植えが終わる
カンボジアの雨季は五月～十一月。農村では田植えが終わる、雨季が終り、雨季が終り、十一月頃から稲刈りが始まる。農業用水のない地方では雨頼み、一年一回の収穫だ。



田舎では、夕飯のおかず探しは子どもたちのお役目。姉妹とおぼしき女の子が田んぼでタニシのような貝を獲っていた。男の子は蛙を獲るのが役目という。

■危険なアルバイト②
プノンペン市内走行中（朝）信号で停まっていたら、車椅子の男性が寄ってきて、車にぶら下げる花を買ってくれと言ってきた。香りがよいので一つ買ったが狭い道路での危険な商売だ。夕方、同じ場所を通ったら、まだ売っていた。



■危険なアルバイト①
トンレサップ湖クルーズ船に、たらいに乗った女の子が寄ってきた。珍しいので写真を撮った。一ドル請求された。危険な商売だが、小遣い稼ぎにはなるようだ。



練馬区NPOパネル展に出展



里親募集のPRを中心に展示した日、東京都練馬区役所のロビーで、区内NPO団体の活動を紹介します「NPOパネル展」が開催され、本会も出展しました。練馬区内には約二百のNPO法人があるが、そのうち十数団体が出展した。会報やチラシも配布し、有意義な広報活動だった。

里子家庭訪問記録

名前：ポラー・スレイネアン	学校名：ブレイトム小学校	
年齢：10歳	学年：小学校の4年生	性別：女の子
住んでいる場所：コンプンスプー県 ウドン郡 ヨットサマキコミュニティ		
学校までの所要時間：徒歩で25分		
好きな教科：国語（特に書き取りが好きです。）		
苦手な教科：算数（特に掛け算の計算式を解くのが、難しいです。）		
担任から一言：成績：道徳A 学校の活動A 健康A 出席A		
家庭状況：3人の兄弟がいます。お兄さん1人、お姉さん1人、ポラー・スレイネアンちゃんは第3子です。父親は別の女の人と結婚しています。母親がいます。現在、母親と1人の子供で暮らしています。		
一日の過ごし方：朝5時に起きてから、家の清掃をします。それから、水浴び、朝ご飯をします。そして、身支度をし学校に通っています。授業が終わってから家に帰り、昼食をします。午後は家事をします。夕食は6時頃にします。夕食の後片付けをします。それから、本を読んだり、先生から出された宿題をしたりしています。そして、10時頃に寝ます。		
好きな遊び：石蹴りをするのが、好きです。		
好きな食べ物：オレンジ（カンボジアの果物）		
将来の夢：国語の先生です。		

黒板で掛け算の計算式を解いているポラー・スレイネアンちゃんの写真です。

備考：
兄は去年、結婚して他の所に住み込みました。
姉は家族の生活を助けるために、工場です仕事をしています。
それで、家に残っている人はポラー・スレイネアンちゃんとお母さんです。
毎日、ポラー・スレイネアンちゃんは小学校の4年生として通っています。
4年は一週間ごとに午前と午後の授業が変わります。
母親は毎日、外で仕事をし、帰るのは夕方です。
ポラー・スレイネアンちゃんは学校から戻ると、いつも、家事をしたり、母親のために、ご飯を作って、準備してあげます。

担当者：メン・ソマリ

クメール教育里親基金活動レポート



高校を卒業するブローク・ニエブ君（右は母親）

貧しい境遇にあるカンボジアの子どもたちが学校へ行けるように、物心両面でサポートする「クメール教育里親基金」では、七月末日現在、三百七十一人の子どもたちを教育支援している。

カンボジアの新学期は十月、八月から長い休みに入った。同基金が教育支援する子どもたちの中で、二人の高校生が卒業を迎える。その内の一人、ブローク・ニエブ君（フンセン・チュレイホープナヴ高校三年生）に会った。

ブローク・ニエブ君は、小学生四年生の時から約九年間、教育里親（鴻野博司さん・理事、石川県金沢市）から支援を受けてきた。里親さんからの支援がなかったら、恐らく小学校すら卒業できなかったであろう。

ブローク・ニエブ君は今、母親、三人の兄弟と一緒に暮らしている。父親が亡くなった。家が苦しいので、高校卒業後は働くことにしたという。「日本の里親さんに、長い間支援してもらい卒業することができました。感謝しています」と話していた。

六月十三日、十九日、東京都練馬区役所のロビーで、区内NPO団体の活動を紹介します「NPOパネル展」が開催され、本会も出展しました。練馬区内には約二百のNPO法人があるが、そのうち十数団体が出展した。会報やチラシも配布し、有意義な広報活動だった。

カンボジア初的美術コンクールを開催

カンボジアの若い芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

絵画、デザイン、彫刻の分野があり、応募資格は三十歳以下。全国から百八十六人が作品を寄せた。「Lovely Cambodia（私の愛するカンボジア）」をテーマにした作品で、各部門で優秀作品が選ばれた。



六月二十八日、皇太子殿下はカンボジア・シエムリアップ州の世界遺産、アンコールワットを訪れ、その素晴らしい魅入られた様子だったと、地元紙が伝えた。（フンペンポスト紙）

カンボジアの経済成長率、六・五%

アジア開発銀行（ADB）が発表した「アジア経済見通し2012年版」によると、カンボジアの経済成長率は六・五%。二〇一一年の六・八%よりやや下がると予測した。

カンボジア「暮らし向きが良い」二〇%

米国の世論調査機関「ギャラップ」が発表した二〇一一年の世界生活幸福調査によると、カンボジアの調査対象者の七十二%が「生活に苦労している」、二十六%が「生活が苦しい」と答えた。「暮らし向きが良い」と答えた人は二%に過ぎず、調査対象百四十六カ国の中で最も低かった。

これは、収入などをもとにした生活実態の調査ではなく、各国の対象者千人の主観を三段階で尋ねた調査。

「暮らし向きが良い」と答えた人の割合が最も高いのはデンマークで七十四%。続いてカナダとオランダが六十六%、イスラエルが六十五%などと

「国際ソロプチミスト石巻」の皆さんがカンボジアに井戸を贈呈

国際ソロプチミスト石巻（宮城県石巻市）の皆さんがこのほどカンボジアの小学校（コンボンチャム県、ソーセン小学校・生徒数二百人）に井戸を寄贈した。七月十二日、贈呈式が行われた。石巻市に住む宮川公子さん（里親会員）の仲介により、実現した。

東日本大震災では最も被害の大きかった石巻市だが、にもかかわらずカンボジアに目を向け、水不足に悩む子どもたちを救ってくださり、感謝。

カンボジアの若い芸術家を育てよう

カンボジアの若い芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

カンボジアの若い芸術家を育てよう

カンボジアの若い芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

神戸ユネスコ協会寄贈の新校舎で学ぶ子どもたち

神戸ユネスコ協会（神戸市中央区楠町・加藤義雄会長）の資金協力により、五月に完成した「ストックアイトロミヤ小学校」（コンボンチュナン県・生徒数約二百人）の新校舎では、生徒たちが熱心に勉強を始めた。生徒たちは黒板を見ながら、国語の授業を受けていた。

カンボジアの若い芸術家を育てよう

カンボジアの若い芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

カンボジアの若い芸術家を育てよう

カンボジアの若い芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

私の戦争体験

20歳の私です
佃井庸八

本会の副理事長、佃井庸八さんは御年九十歳、年に三回実施される「カンボジアふれあいの旅」に参加するなど、今もなお現役で頑張っております。佃井さんから、戦争体験の原稿が届きましたので、しばらく連載いたします。国際協力の原稿ではありませんが、読者の皆様のお役に立てれば幸いです。

私は南方へ行くことが決まりました。これも運命の分かれ目です。北は玉砕したアッツ島などへの転属命令でした。第十四司令部へ転属が決まりました。最後の別れに父が面会にきてくれました。いつも小言ばかり言われてはめられたことなし、鬼のような父でしたが、これが今生の別れになるかもしれないと、男の涙を初めてみました。

初めは門司港を出帆、灯下管制下、真っ暗闇の中の出航でした。輸送船団三十隻、私の船には、四千名もの兵士が乗っていました。

途中、台湾に寄港しましたが、飛行機からの爆撃と潜水艦からの魚雷攻撃で、約半数の船が沈められました。

やがてフィリピンのマニラ湾に到着。軍用トラックに乗せられ、約二十キロ離れた飛行機の警備につきました。

陸地での戦いはほぼ終わっていました。が、治安はとも悪く、日本の兵隊を二人殺せば懸賞金がもらえるという噂が流れていました。

その後マニラを出て、ミンダナオ島サボンアンガに寄港しました。セブ島が近くにありましたが、一日ゆっくりと過ぎました。

再びマニラへ向かいましたが、湾の近くで敵の魚雷が船に当たり、海へ投げ出されました。かろうじて椰子の木片につかまり、漁船に助けられて、全身重油にまみれた姿で陸地に辿り着きました。

（群馬県桐生市・副理事長、里親会員）

投稿

第三回卓球大会を終えて

三林けい子

七月十五日、夢ホームにて「第三回ニッタク夢ホーム地域卓球大会」を開催しました。今回から「地域」という名称を入れました。今まではホームの子どもたちだけの卓球大会でしたが、今回からチャイニョップ中学校生と、ブノンベンにある「愛センター」から選手を招待しました。いわゆるライバル登場です。



第3回ニッタク 夢ホーム地域卓球大会 協賛：東北福祉大学新潟県同窓会

ラタナー選手は大喜び。今回は優勝カップを旅に出すことになりましたが、次の第四回大会（3月開催）には優勝カップを奪回できるようにさらに子どもたちは卓球の練習に励むことになるでしょう。「開かれた地域の卓球大会」として今後も継続して開催していきたいと考えています。

トーイレの男女の図柄 神戸ユネスコ協会が寄贈した小学校の完成記念式典が終了した翌日五月十五日（十六日）に、二班に分かれてアンコールワット遺跡群とリゾルト地シハヌークヴィルで心身を癒した。

トーイレの男女の図柄

シハヌークヴィルではソカーホテルに滞在した。夕食でトーイレに行ってみると、男女の入り口の図柄が写真のようになっていた。男性はネクタイなどの理解できる。女性はハイヒールをぶら下げている？

トゥッサナー・カンボジア

*トゥッサナーとは観察するという意味です。



今まで見たことのない図柄だった。日本ではまずないだろう。（理事・中野勝）

平成24年度 賞金・商品総額500万円+社長が気に入ればすぐ買い取ってくれる！ 『東久邇宮記念会 全国発明大会& 全国ネーミング&キャラクターコンクール』

発明の部

生活雑貨や身の回り用品、介護グッズや子育てグッズまで、ありとあらゆる発明品を大募集！ 「こんなものが欲しいのよ！」というものを、あなたが発明してみませんか？

フリー課題でネーミングやキャラクターを考えてください。 「え！？これくらいキャラクターなら私でもできそうだけど・・・？」というもの、目にしませんか？

ネーミング&キャラクターの部

- ◆ 東久邇宮記念大賞【第1位】 賞金30万円+賞状+トロフィー
◆ 豊澤豊雄賞【第2位】 賞金10万円+賞状+トロフィー
◆ 知的財産学校賞【第3位】 賞金5万円+賞状+盾

- ◆ 東久邇宮記念大賞【第1位】 賞金10万円+賞状+トロフィー
◆ 豊澤豊雄賞【第2位】 賞金5万円+賞状+トロフィー
◆ 知的財産学校賞【第3位】 賞金5万円+賞状+盾

上記各賞の他にもスポンサー賞等が多数あり、各賞（決勝発表大会出場）に、賞金・賞状・副賞が用意されています。日米の企業社長が審査します。いいものは入賞に関係なく契約してくれます。

- 応募資格 不問
● 応募方法 所定の応募用紙に記入、応募点数制限なし。ただし、応募用紙1枚につき1点
● 応募用紙請求方法 下部申込書へ記入の上、現金書留もしくは郵便為替にて、費用とともに送付。
● 応募メット 平成24年10月18日(必着) ※各部とも応募用紙1枚で1点の応募ができます。
● 発表 予備審査：11月上旬 入賞者へ通知
投票審査：12月上旬 決勝発表大会で受賞作品決定！
最終結果：12月下旬 ウェブサイト上

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-13-4 北原ビル303「全国発明大会」係

紙の募金箱をお部屋に置いてください



本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。折りたたみができ簡単に送ることができますので、ご家庭やお部屋に一つ、貯金箱代わりに置いていただけませんか？

おり、平日、学校が終わると愛センターに通ってくる。また、土日はゴミ山の近くにスタッフが出向き、学校へ通っていない子どもたちへメールの指導を無料で行っている。（新潟市・理事、里親会員）

活動に参加しませんか

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

- 個人会員（年額一〇五〇円）
● 法人会員（年額一〇一〇万円）
● 里親会員（年額三万円）
● 会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。

21世紀のカンボジアを支援する会（口座番号） 0013000160916 ※銀行振込をご希望の方は事務局へ一報ください。 ※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へ一報ください。

真珠のように輝く子供たちの瞳に出会ってみませんか？ 「夢ホーム」で子ども達と楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な井戸の贈呈式・学用品配布・アンコールワット観光など 第22回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子ども達との交流をはかることができます。特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子ども達が皆様をお待ちしております。併せて学用品配布などのボランティア活動にも参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。



「夢ホーム」の子ども達が皆様をお待ちしています



学校訪問では井戸贈呈式に出席します

- 【旅行期間】平成24年11月7日（水）～13日（火）〈5泊7日〉
【募集定員】最少催行人員10名様（定員＝30名）
【滞在ホテル】ダイヤモンドホテル（ブノンベン）5泊
【利用空港】成田空港および関西空港など
【旅行日程】7日＝成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのブノンベン国際空港へ。
8日＝小学校を訪問、井戸贈呈式と学用品配布など
9日＝教育支援する里子の家を訪ね
10日＝自由行動（オプションでアンコールワット観光、サッカー大会あり）
11日＝夢ホーム訪問、セントラルマーケットで買い物
12日＝ブノンベ市内観光後、夕方チェックアウト⇒ブノンベン国際空港から帰国の途へ
13日＝早朝、成田・関西空港などに到着
【旅行代金】14万円～15万円を予定。＊現地までの航空券代、空港税、ビザ申請代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。＊1人部屋希望者追加料金5泊で12,000円。＊日帰りアンコールワット観光25,000円（希望者のみ）＊傷害保険は各自でおかけください。
【締切日】平成24年9月20日(木)

お問い合わせ・申し込み 旅行企画☆特定非営利活動法人 21世紀のカンボジアを支援する会 〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701 TEL: 03-3991-2854 E-mail: info@aac21.net http://www.aac21.net FAX: 03-3557-1213

事務局便り 二〇〇六年に開設した関西支部ですが、このほどその役目を終え、八月末日をもち解散することになりました。支部長の中野理事はじめ、役員の中野理事、帝産（株）の小松さんには大変お世話になりました。誠にありがとうございました。
九月～十月の予定
● 会員交流会・新潟集会（八月三十一日～九月一日・新潟県内）
● 会報「アンコールワット」九月一日付第六十六号発行
● 國學院大學国際協力サークル「優志」カンボジア訪問（九月三日～十一日）
● カンボジア訪問ミニツアー（九月五日～二十日）
● グローバルフェスタ2012（十月六日～七日・東京都日比谷公園）
● 第三十五回練馬まつり（十月二十一日・東京都練馬総合運動場）